事業名

西陣で日本舞踊をはじめよう

実施団体

京文化を味わう会

日本舞踊は世界で評価されている実例はあるものの、実際に日本で日本舞踊が観賞される経験は他の芸術の半分以下という現状があります。公演収入が減ると舞踊人口も減少し、それにしだいで舞踊の際に用いる着物やその他小道具の需要が低下し、着付け師やかつら師の需要も減ってしまい、伝統産業の衰退にもつながってしまいます。そこで、京都の伝統文化を近い世代の若者に紹介しようと試みている学生団体『京文化を味わう会』は西陣織会館にて音羽陽次郎先生、音羽菊寿寿先生、音羽菊寿碧先生、かづら倅さま、上嶋衣裳店さまのご協力のもと、日本舞踊を体験し、実演も観賞でき、日本髪や着物文化の入門講義も受けられる教室を開催することにいたしました。開催前後で参加者の方が西陣織会館の展示や販売コーナーでさらに着物文化に親しんでもらえることも見込まれます。2日連続の内容で10月3日・4日に開催し、参加者の制限はなく、参加費は高校生以下を500円、大人は1000円(各日)としました。新型コロナウイルス感染症の流行のために不安もありましたがご参加者は1日目13名(鑑賞のみ5名)、2日目が11名(鑑賞のみ8名)にお越しいただくことができました。

音羽陽次郎先生によって1日目は『越後獅子』、2日目は『京の四季』の舞踊体験をすることができました。2日間にわたってかづら倅さまと上嶋衣裳店さまのご厚意により、幼女・20歳前後の女性、花街の方の髪形や衣装だけでなく連獅子の獅子頭についても実物で学ぶことができました。1日目は音羽陽次郎先生によって『三番叟』、2日目は音羽菊寿碧先生によって『浦島』のご実演をしていただきました。休憩時間には舞台衣裳やかづらの説明も職人さんたちに行ってもらいました。浦島では青年から老人へと衣裳の引き抜き(いわゆる早着替え)をする必要があるため、仕掛けのある衣装を着ることになるのですが、この仕掛けの方法や着付けの仕方も上嶋衣裳店さまより解説付きのご実演をしていただきました。

2日間にわたってのべ37名の方に日本舞踊の世界とその基礎となる着物文化について学習することができました。新型コロナウイルス感染症の流行が収まった後はもっと大々的に宣伝をすることにより、若い世代の方々にも西陣織を含めた着物文化、そして日本舞踊などの伝統芸能にもっと親しんでもらえるように努力を続けていきたいと存じます。

令和2年度度上京区民まちづくり活動支援事業
主催:京文化を味わう会

両日とも先着30名限定

日本舞踊

体験教室

10月3日(土)、4日(日) 西陣織会館4階にて14時~17時半
(途中入退場自由、1日のみ参加可能)
参加費 小学生以上両日とも500円

内容 日本舞踊の体験(+発表会)、観賞および着物文化の入門講座
(※両日とも内容は異なります。※着物類の販売は行いません。)

講師 音羽 陽次郎先生(1日目指導/解説)
音羽 菊寿寿先生(2日目指導)、音羽 菊寿碧先生(2日目指導/実演)

案内・申込 <https://kyotoculture-st.net/2020buyotaiken/>
kyotoculture.youngergeneration@gmail.com

090-1249-1725 (平日10時~18時受付)
(※9月16日より受付開始、9月30日または各日30名に達し次第、申込を締め切ります)

※参加要事前申込 マスク着用必須 ※浴衣+足袋が理想(洋服でも可能) ↑案内・申込はこちら

舞台衣裳着付けの実演

音羽菊寿碧氏
(衣裳の引き抜き前)

音羽菊寿碧氏
(衣裳の引き抜き後)

舞台衣裳やかづらの展示

舞踊体験の風景